

高森中学校 進路だより

オープン

O P E N

視野を開く 心を開く 進路を開く

第6号

発行：令和7年9月30日

文責：野添敏幸

## ☆受検先の高校が、私たちに何を求めているのかを理解しましょう。

熊本県教育委員会が、前期入試に関する資料をHPに掲示しました。また、国公私立、県内外を問わず、どの学校も「こんな生徒に入学してほしい」というリクエストがあります。どのような能力や意欲が求められているのか、下の内容を参考に確認しましょう。

- 熊本県前期選抜での受検希望者は、『前期（特色）選抜における「重視する観点」、「検査内容」及び「具体的な選抜方法等」』
  - 私立高校の受検を希望する場合、『教育目標』や『校長先生の言葉』
  - 国立高専の受検を希望する場合、『アドミッションポリシー』
- さらに、すべての『学科・コースごとの目標や求められている能力』など

まずは、受検の可能性がある学校（学科、コース）について確認しておくことが必要です。特に、次の視点で確認しておきましょう。

### ①高校側が求めている「知識や能力、意欲」などを理解しておく

- ・高校は義務教育ではありません。「高校の教育課程や目標、指導方針などを理解」し、「高校での生活や学習に適する力を有する」と認められた人が入学を許可されます。入学後、こんなはずではなかった、ということがないように確認しておきたいものです。

### ②検査内容を確認しておく

- ・各学科・コースごとに、多様な検査が実施されます。面接（個人か集団か）、小論文（作文）、実技など、どんな検査を課されるのか、また、それぞれの比重（割合）も重要です。

受検の準備にあたって、まずは、自分自身の意識と取組が重要です。ここ数年、面接や作文を課す学校・学科が急増しています。そのため、今後、学校でも必要な対応を検討していきますが、1人あたりの回数は多くはありません。まずは生徒の皆さんが、自分にできることに積極的に取り組むことが重要です。

♪ 不器用だって 未完成だって 備は機であるから  
手探りだって 間違ひだって 全て抱きしめるのさ  
定めに未来に今 合わせるFocus 備わりのStory あいのままで  
色とりどりのMY WAY 輝きだしたMY WAY (♪ My Way♪)

○ちなみに、下は、ある公立高校の重視する観点です。

次の①～③のすべてを満たす者。

- ① 本校の探究活動に積極的かつ主体的に関わろうとする意欲を持ち、地域や国際社会に貢献したいと考えている者。
- ② 基本的生活習慣が身につけており、キャリア形成に向けて学ぶ意欲を有する者。
- ③ 中学校で研究や生徒会活動、ボランティア活動、部活動等に積極的に参加し、高校でも様々な場面での情報発信や発表等に果敢に挑戦したいと考えている者。

○熊本県の前期選抜では、このような重視する観点が学科・コースごとに設定されており、これをもとに、面接や作文が課されます。

☆また、他の学校でも同様に、学科・コースの特性に応じて専門的な知識や時事的な内容が問われたりします。

○面接や作文の対策として、・・・

- ①「重視する観点（公立前期）」「教育目標（私立等）」「アドミッションポリシー（高専）」「学科・コースの目標」を読み込み、新聞やニュース等で情報を収集しておく
- ②面接対策として、日頃のあいさつや敬語、丁寧な言葉遣いで会話をする。
- ③作文対策として、毎日の振り返り（日記）などを丁寧に書く。

これらは、いずれも、1～2日で上達するものではありません。日頃からの積み重ねが大事です。

※参考までに、過去にはこんなことを薦めていました。

- ・阿蘇中央高校や高森高校受検者は、「新聞の地域のコーナー」で阿蘇に関する記事の中から情報を収集しておく。
- ・商業系を希望する受検者は、「経済や金融関係」のニュースを視聴する。
- ・スポーツ系の特技を生かす受検者は、自分の競技が周りの人々や社会全体に与える貢献度について考える。など。

## ☆面接対策、はじめます。

先日26日（金）に、面接・作文対策学習会の文書（申込用紙）を配布しています。すでに受検先が固まっている場合、積極的な参加を期待しています。準備や計画の作成のため、申込み締切を10月9日（木）の朝の会まで、としています。締切厳守で申込みを受け付けます。まずは、自分の受検に面接・作文が必要かを確認することがスタートです。なお、三者面談後に面接・作文が必要になった場合は、後日2次募集を行います。詳細は、配布済みの文書（申込用紙）にて確認をお願いします。